

# 令和元年度半田市障がい者自立支援協議会 第2回 事業所連絡会 ダイジェスト

発行元：半田市 令和元年11月

今回の事業所連絡会は、「災害の備え・対応についての計画を立てる!」と題して、障がい福祉サービス事業所職員のみなさんと大規模災害時の事業所活動について情報共有し、課題を協議しました。

半田市から市の防災・減災の取組を報告後、障がい福祉サービス事業所からBCP(=業務継続計画)の取組や課題等について報告してもらい、最後にグループワークにて震災後24時間後を想定した職員体制や利用者対応等の現状や課題等を整理し、今後必要となる準備や体制づくり、簡単なBCP(案)を考える機会としました。

- 日時：令和元年11月28日(木)  
13時30分~16時00分
- 場所：雁宿ホール 視聴覚室
- 内容：①半田市の取組報告  
②事業所の取組報告  
③グループワーク
- 参加人数：22名

## BCP

(=Business Continuity Plan の略)  
災害などの緊急事態が発生した時に、  
事業の継続や復旧を図るための計画  
(業務継続計画)のこと。



## 1. 半田市の取組報告

- ①福祉避難所を開設期間により「拠点福祉避難所」(中長期)と「(拠点外)福祉避難所」(短期)に分類し、事業所等と福祉避難所開設の協定締結を進めている。
- ②避難所における要配慮者支援について、福祉避難所等への人員派遣を要請するため市内福祉サービス事業所等と支援者派遣事業所としての協定締結を進めている。
- ③高齢の方や障がいのある方など、災害時の自力避難が特に難しいと思われる方の名簿を作成し、平常時から地域の関係機関と情報共有することで、災害時の避難支援や安否確認など、地域で支えあう体制の強化を進めている。

## 2. 事業所(NPO法人りんりん・半田市障がい者相談支援センター)の取組報告

### ○NPO法人りんりんのBCPについて(取組と課題等)

業務の優先順位と事業再開目標時間を設定。初動対応は非常災害時マニュアルに沿って行い、災害時に優先して行う業務となる利用者の安否・状態確認を、「災害時利用者一覧表(安否確認優先順位)」をもとに各中学校区班にて実施する。また、職員の安否確認や情報収集方法等についてもルールを作り、訓練等にて職員への周知を図っている。

### ○半田市社会福祉協議会(半田市障がい者相談支援センター)のBCPについて(取組と課題等)

被害想定から職員参集状況を想定し、災害時に発生する業務・再開すべき業務など、業務の優先度を整理している。今後、災害エリアごとでの対応方法や、訓練等を通じた計画の更新を検討している。

## 3. グループワーク(発災後24時間後を想定した状況下で、発生する業務、それを遂行するために準備が必要なことについて、各事業所の現状や課題等を共有しながら検討しました!)

◆災害時に発生する業務◆	◆事前の準備が必要なこと◆
<ul style="list-style-type: none"><li>・職員の安否確認</li><li>・職員の参集確認</li><li>・利用者等の安否確認</li><li>・道路等交通状況の情報収集</li><li>・建物、施設の被害状況確認</li><li>・ライフラインの復旧、確保</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・災害時に発生する業務の優先順位決め (例：安否確認する利用者の抽出等)</li><li>・職員間で災害時の対応を検討する機会づくり</li><li>・職員の安否確認、参集方法のルールづくり</li><li>・職員間の災害対応に関する情報共有の徹底</li><li>・情報集約方法の事前調整、確保 (例：事業所間の情報ネットワークづくり等)</li><li>・利用者家族等との事前調整</li><li>・必要物資(非常用電源等)、備蓄食糧の事前確保</li></ul>

## グループワーク後

他の事業所の取組や、課題に対する対応策を知ることのできる良い機会となりました。

今後も、防災・減災をテーマとした連絡会を定期的に関催できるように準備を進めていきます。

## 問い合わせ先

半田市障がい者相談支援センター(徳山)

TEL 0569-21-5585

半田市地域福祉課(杉浦)

TEL 0569-84-0643